

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝静脈圧較差の非侵襲的代替マーカーの探索と長期予後の層別化に関する臨床的検討			
② 実施予定期間	実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に第一内科にて腹部血管造影検査（肝静脈圧較差検査）を受けた患者さん			
④ 対象期間	2007 年 4 月 1 日 ～ 実施許可日 追跡期間：実施許可日から 3 年間			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	第一内科			
⑦ 研究責任者	氏名	西村達朗	所属	第一内科
⑧ 使用する情報等	対象患者さんのカルテ等から、年齢、性別、門脈圧亢進症の成因、既往歴、併存疾患、前治療歴（肝細胞癌・食道胃静脈瘤）、血液検査所見、画像所見、肝予備能・肝線維化に関連する指数、予後・転帰			
⑨ 研究の概要	肝静脈圧較差（HVPG）は門脈圧亢進症の重症度診断や肝硬変合併症リスクの評価において最も有用な指標であることは報告されていますが、その測定には一定の侵襲を伴うため、HVPGに代わる非侵襲的な評価法が有用視されています。当科では門脈圧亢進症に対するカテーテル治療（部分的脾動脈塞栓術[PSE]やバルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術[BUTO]）を行っている患者さんに対しHVPGを測定しています。本研究では当院でHVPGを測定された患者さんを対象として、血液検査結果および画像検査結果をもとに、その非侵襲的代替マーカーを統計学的に抽出し、またその代替マーカーを用いて長期予後に関する検討を行います。本研究により、非侵襲的な評価法での門脈圧亢進症の重症度診断が証明されることが期待されます。			
⑩ 実施許可	研究の実施許可日	2025年 5月 14日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	第一内科の奨学寄附金を用います。			

⑯ 利益相反	ありません			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 第一内科 西村 達朗			
	電話	0836-22-2241	FAX	0836-22-2240